

実施結果報告書

1 団体名	楽田小学校 PTA
2 事業名	青パト防犯パトロール
3 事業実施結果	<p>青色防犯パトロールの活動基盤の再構築による活動の活性化</p> <p><u>1. 事業実施の意義</u></p> <p>本防犯パトロール隊は、楽田小学校 PTA と楽田地区コミュニティが連携して活動してきた。だがコロナ禍により、活動の中止を余儀なくされている。また、児童数の急速な減少に伴い、これまでと同様の運用で再開できずにいる。そこで、これまで行ってきた青色防犯パトロール活動を0ベースで再考し、意義の確認や運営の効率化、現状に合わせた活動方法に変更するなどの、活動基盤の再構築を行い、持続可能な活動を展開したい。そのためには、特に次の3点が現状の問題点として考えられる。</p> <p>【意義の確認】</p> <p>これまで、パトロールの実際は実施者任せになっていた面があった。そのため、進め方に差異があったり、活動自体に意味を感じられない参加者が増えたりしている。</p> <p>【運営の効率化】</p> <p>これまで、全会員一律で当番を組んできたが、日程調整には多くの労力がかかっており、活動を維持するためのマネジメント業務に負担となっていた。</p> <p>【活動人数の確保】</p> <p>児童数の急激な減少により世帯数も減り、当番活動の一世帯あたりにかかる負荷が大きくなっている。</p> <p><u>2. 事業の実施方法</u></p> <p>(1) ホームページのリニューアルと予約システムの導入</p> <p>運営の効率化に向けて、楽田小 PTA・HP に新しいページを作成し、そこから直接予約ができるようなシステムを作成した。</p> <p>【シフトの見える化】</p> <p>これまで、地区毎で担当を立て、担当者が中心となってシフトを決めてきたため、地域により活動に若干の偏りがあった。アプリ導入によりシフトの一括管理をすることで地域間格差のないような体制を目指した。</p>

【基本時間と基本コースの設定】

これまで、実施者任せになっていた活動を、基本マニュアル（基本時間と基本コースの設定）の作成により格差の是正を行う。この基本マニュアルは楽田小HPにより情報を取り出せるようにした。

（2）パトロールの定期化

【年間を通じた取り組みへの変更】

活動人数の確保に向け、年間を通じたシフトを組めるとよい。これまで冬期になると活動の自粛をしていた。地域の安全を守るために年間を通じた活動ができるよう、サポート体制の見直しも行い、年間を通して安定的に活動ができるようにした。

また、活動用の当番旗など目印となる活動物品もなく、各自に任されていた。活動をしていることが外部からもよくわかれば、防犯上の観点からも抑止効果も出てくると考えられる。



ウェブページへ

2023/1/20

今年履修簿の貸出回数たくさんまりました。皆さんご協力ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。【広報委員会】



作成したホームページ



日程表

予約件数表示

予約表

スマホにおける予約画面

3 事業実施
結果



開発した予約管理システム画面



楽田コミュニティと共同運航している青色防犯パトロールカー

<p>4 成果と課題 及び今後の 取組み</p>	<p><u>(1) 事業実施の成果及び課題</u></p> <p>成果</p> <p>【PTA 役員・委員・事務局の調整業務の削減】</p> <p>これまでの調整業務は事務局だけで毎週 1 時間～2 時間程度かかっていた。さらに役員・委員にも調整業務が地区ごとにあったが、その業務を事務局が月 1 時間程度の調整を行えば十分な量となった。</p> <p>【実施者の所属意識の向上】</p> <p>再開に向けて、様々な意見調整をしていく中で、前向きな意見も見られるようになった。また、改めて PTA 活動の意義について考えることができるようになった。</p> <p>課題</p> <p>学校の PTA 活動や地域のコミュニティへの参加率が下がっている大きな流れにはなかなか逆らうことはできない。これは、働き方改革や共働き世代の増加などが影響していると考えられる。よって、これまでと同じように本会の運営をしては立ち行かなくなってくることは自明である。</p> <p>本助成金により、システムの効率化と会員の所属意識の向上を果たすことができたが、これまでと同じような活動を実施していくことはできていない。特にコロナ対応を意識した新しい実施方法の模索は急務と言える。今回の調整業務の改善のためのアプリは、今までアナログで一律に行ってきた割り振りを、会員の実情に合わせた個別最適化を実施することができる。この方法を浸透させた新しい運用システムの構築が、今後の大きな課題となる。</p> <p><u>(2) 今後の取組み</u></p> <p>これまでの活動の柱として取り組んできた青色防犯パトロールの再開にこぎつけることができたのは、大変良い成果と言える。</p> <p>だが、アプリだけで運用率が上がることはないと考えている。今後も活動の意義や理解を求める声掛け等を会員に粘り強く行っていくことをしなければ、活動の自体が揺らいでいく可能性もある。大切なのは地域に住んでいる一員として、学校や地域に関りをもつことで、学校や地域が成り立っているという意識をもてるようなアプローチを粘り強く行っていくことにある。</p> <p>例えば、地域ボランティアの活性化もその一つの方法であろう。防犯活動に限って言えば、スクールガード会とコラボレーションをした児童見守り活動の活性化や PTA も参加する防犯訓練なども考えられる。会員への無理のない形で、意識向上につながる取組みを実施していきたい。</p>
----------------------------------	--